

議会だより



# やまがた

76号

2022年5月1日発行 発行：山県市議会 編集：議会報編集委員会



## CONTENTS

- 第1回臨時会、第1回定例会 …… P2・3
- 特別委員会最終報告 …… P10
- 常任委員会報告 …… P4・5
- 議員特別セミナー報告 …… P11
- 一般質問 …… P6-9
- 議会活動日誌・第2回(6月)定例会予定 …… P12

### 第1回臨時会

1月20日

予算案件 1件  
報告案件 2件

### 第1回定例会

2月28日～3月17日  
(18日間)

人事案件 17件  
条例案件 11件  
予算案件 13件  
その他案件 3件  
議員提出議案 1件  
報告案件 2件



## 議案の審議結果

### 令和4年 第1回臨時会

#### ● 予算案件

議第1号	令和3年度山県市一般会計補正予算(第8号)	可決(全会一致)
------	-----------------------	----------

#### ● 報告案件

報第1・2号	専決処分の報告について	—
--------	-------------	---

### 令和4年 第1回定例会

#### ● 人事案件

議第3～16号	山県市農業委員会委員の任命同意について	同意(全会一致)
議第17～19号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任(全会一致)

#### ● 条例案件

議第20号	押印等の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例について	可決(全会一致)
議第21号	山県市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	可決(賛成多数)
議第22号	山県市有線テレビ放送施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	可決(全会一致)
議第23号	山県市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第24号	山県市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第25号	山県市いじめ問題対策連絡協議会等条例について	可決(全会一致)
議第26号	山県市障害者地域生活支援事業の実施に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第27号	山県市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第28号	山県市消防団の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第29号	山県市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第30号	山県市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)

#### ● 予算案件

議第31号	令和3年度山県市一般会計補正予算(第9号)	可決(賛成多数)
議第32号	令和3年度山県市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
議第33号	令和3年度山県市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
議第34号	令和3年度山県市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
議第35号	令和4年度山県市一般会計予算	可決(賛成多数)
議第36号	令和4年度山県市国民健康保険特別会計予算	可決(全会一致)

議第37号	令和4年度山県市介護保険特別会計予算	可決(全会一致)
議第38号	令和4年度山県市後期高齢者医療特別会計予算	可決(全会一致)
議第39号	令和4年度山県市簡易水道事業特別会計予算	可決(全会一致)
議第40号	令和4年度山県市農業集落排水事業特別会計予算	可決(全会一致)
議第41号	令和4年度山県市公共下水道事業特別会計予算	可決(全会一致)
議第42号	令和4年度山県市高富財産区特別会計予算	可決(全会一致)
議第43号	令和4年度山県市水道事業会計予算	可決(全会一致)

#### ● その他案件

議第2号	山県市農業委員会委員の少なくとも4分の1を認定農業者等とすることの同意について	同意(全会一致)
議第44号	市有財産の無償譲渡及び無償貸付について	可決(全会一致)
議第45号	北山辺地総合整備計画の策定について	可決(全会一致)

#### ● 議員提出議案

発議第1号	ロシアによるウクライナへの侵攻を非難する決議	可決(全会一致)
-------	------------------------	----------

#### ● 報告案件

報第3号	専決処分の報告について	—
報第4号	山県市国民保護計画の変更について	—

#### ● 賛否が分かれた議案

議案番号	議決結果	田中辰典	奥田真也	寺町祥江	加藤裕章	古川雅一	加藤義信	郷明夫	操知子	福井一徳	山崎通	吉田茂広	石神真	武藤孝成
議第21号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議第31号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議第35号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—

※○は賛成、●は反対。なお、議長は採決には加わらない。

### 採決にあたっての主な討論

#### 議第31号 令和3年度山県市一般会計補正予算(第9号)

**反対討論** 保育士(会計年度任用職員)の慢性的な欠員状態は、子どもの保育内容、現場で働く保育士への影響があると言わざるを得ない。また、保育園営化による保護者の不安や疑問が解消されていないことが保育士の欠員状態に影響していると考えられ、重大な問題である。その内容を含む補正予算には反対する。

#### 議第35号 令和4年度山県市一般会計予算

**反対討論** 市の産業構造を生かした地域経済牽引事業による、若者の雇用機会の創出や、三田又川の改修工事完成に向けた水害対策事業などの重要な予算が含まれている。しかし、マイナンバーカードの促進や保育士(会計年度任用職員)の処遇改善を見送ることについては認められないため、反対する。

### 可決された決議

#### 議第1号 ロシアによるウクライナへの侵攻を非難する決議

決議文はこちらのQRコードからご覧いただけます。



# 常任委員会報告

各常任委員会で、付託された議案をそれぞれ審査しました。主な質議と審査結果は次のとおりです。

## 総務産業建設委員会

### 条例案件

【議第21号】 山県市個人情報保護条例の一部を改正する条例について

Q 個人情報の保護をめぐるこの改正の趣旨と背景は。

A また、個人情報の保護の取り扱いについて、実務的な対応はどのように変わるのか。

A 行政機関の保有する個人情報に関する法

### 予算案件

【議第31号】 令和3年度山県市一般会計補正予算(第9号)

Q 中小企業等活性化補助金が800万円減額となった理由は。

A 国の持続化補助金などが認められた人や、申請し

Q 地域振興事業で、会計年度任用職員の報酬が1400万円減額となっているが、当初計画の人員との関係でどのような対応をしてきたのか。

【議第35号】 令和4年度山県市一般会計予算

Q 北部地域拠点整備事業設計委託料・各種工事で、新支所建設・解体実施設計などと美山支所等解体工事の概算費用は。

A 委託料は、支所と山村開発センターの解体設計料1100万円、その監理費500万円、北部地域拠点整備実施設計料3千万円を見込んでいます。



▲美山支所・山村開発センター

A 地域おこし協力隊経費で、雇用型4人、委託型1人分計上していたが、雇用型では途中退職により現状は0人、委託型は1人となっている。活動経費と報酬に関する経費を精算し減額補正となった。

各種工事は、支所と山村開発センターの解体費4億1237万2千円と、仮支所の改修または設置費500万円を含めた額を見込んでいます。

Q 水田フル活用推進事務費補助金が240万円に増加している理由は。

A 令和5年度から国のシステムに変更するため、それに伴いデータ移行作業が必要となり、令和4年度に予算化したためである。

Q 危険空家等補助金に関して、除去した空き家の件数は。

A 平成29年度1件、平成30年度5件、令和元年度4件、令和2年度12件、令和3年度10件除去した。

Q 名山めぐり事業委託料870万円の事業内容と目的は。

A 市内の低山への案内看板や登山道の整備などを実施することで、幅広い年齢層に来てもらうことを目的としている。



A 事業者に対する支援が重要であると考える。商工会と協力し、スマートフォン決済に対応するための説明会などを丁寧案内、開催できるように進めていきたいと考えている。



Q 中小規模事業者等応援地域消費活性化事業委託料5千万円について、中小零細企業が新しくスマートフォン決済を導入し、対応できるようにするための啓発は考えているのか。

A 事業内容は、アフターコロナを見据え、地域資源を活用した新商品開発の経費の一部を補助することである。また、市内事業者などの持続的な発展を促すことを目的としている。

採決の結果、付託された議第21号は、賛成多数で、議第20号、議第22号、議第23号、議第28号から議第31号、議第35号、議第42号、議第44号及び議第45号は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定した。

## 厚生文教委員会

### 予算案件

【議第31号】 令和3年度山県市一般会計補正予算(第9号)

Q 体験型保育事業委託料が減額になっているが、内容は。

A コロナ禍により体験型保育の実施を縮小し減額した。内容は、川遊び、木遊館での活動、散歩の事業を実施した。



▲自然体験事業「小川で遊ぼう」

【議第35号】 令和4年度山県市一般会計予算

Q コロナ禍の影響が今後も続くと思われるが、婚活イベントはどのような内容を想定しているか。

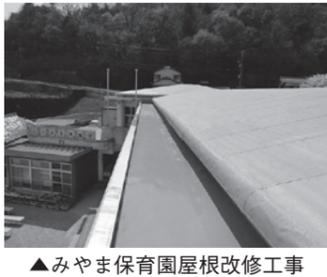
A 結婚相談・婚活イベントは、またコロナ禍でもあるため具体的には決まってい



まってい

Q みやま保育園各種工事の費用が減額になった理由は。

A 敬老事業のうち77歳の喜寿記念品はまちづくり振興券、100歳の長寿褒賞金は現金を贈呈する。



▲みやま保育園屋根改修工事

Q コロナ禍でクラブ(部活動)の各種活動が停止していた。指導者に活動補助金が支払われるが、行事が減少した分、減額しているか。



Q コロナ禍でクラブ(部活動)の各種活動が停止していた。指導者に活動補助金が支払われるが、行事が減少した分、減額しているか。



Q 全国大会等出場応援金は、団体、個人、運動系、文化系、eスポーツなど、さまざまな大会があるが、支給対象基準と過去の支給実績は。

A 山県市全国大会等出場者応援金事業実施要綱に基づいて運用し、市内の文化(eスポーツも含む)、体育の活動全て対象である。

支給実績は、令和元年度41件、令和2年度9件、令和3年度17件である。(令和2年度以降はコロナ禍により大会が減少し申請件数も減っている)

Q 子育てモバイルサービス運用委託料で、デジタル化する母子手帳を利用できる対象はこれから生まれてくる子どもか。

A また、医療との連携は、A どの乳幼児も登録することで利用できる。



【議第43号】 令和4年度山県市水道事業会計

Q 設備改良工事で、配水管の布設替工事に1億円計上されているが、場所はどこか。

A 高富の北町で2カ所、佐賀で1カ所、美山の岩佐で2カ所、十王橋での布設替工事を実施する予定である。

採決の結果、付託された議第24号から議第27号、議第31号から議第41号及び議第43号は全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定した。





Q 美山、伊自良の住居表示について

美山・伊自良の認知度の向上に努める A

Q 三町村が合併して20周年を迎えるが、これを機に元の住居表示にしているのか。また、難しいのであれば、現在、地図上では消えている美山・伊自良の名称をどのようにアピールし、残していくのか。

A 美山・伊自良の住居表示については、「高富町・伊自良村・美山町合併協議会」で審議されており、伊自良支所や美山支所を始めとして、公民館、保育所、小中学校、文化・スポーツ施設などの公共施設には、美山・伊自良の表示は残すこととされた。旧三町村で区分けするのではなく、山県市が一体化していくよう、「原則として現行のとおりとする」と取り決められた事項であり、第5回合併協議会において承認されている。

市民からは、住居表示を変更してほしいとの要望は聞いていないが、そのような要望が多数寄せられ、多くの人の同意が得られるのであれば検討する。住居表示の変更は、多くの経費が必要となる



▲美山・伊自良の表示が残る公共施設（一例）

ことが想定されるので、現状では考えていない。合併20周年を迎え、今後、一層、本市が発展していくよう努める。

公共施設などには、美山・伊自良の表示が残っているため、引き続き公共施設名にはできる限り残していきたいと考えている。

また、本市の認知度向上のため、さまざまな施策を実施しているところだが、併せて美山・伊自良についても同様に認知度の向上に努める。



Q-1 人口減少に歯止めをかける有効施策を

地域特性に応じた効果ある複合的施策を推進する A

Q-2 古城山大桑城跡発掘調査と今後の取り組みは

調査を推進し、その歴史的価値の把握に専念する A

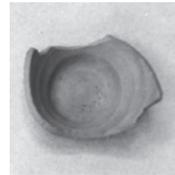
Q1 第2次山県市総合計画で、2040年の人口は1万7123人になることが予想されている。合併時は3万人を超えていた。人口減少に歯止めをかける有効施策として、他市町で人口が増えている取り組みを取り入れ、市に新設されたバスターミナルに早朝から夜遅くまで子どもを預かる託児所を併設することで、バスターミナルをハブとして活用してはどうか。

A 他市町での成功例には、地域特性に合わせたさまざまな方法がある。本市では、近年の施策により、合計特殊出生率や転出超過対策に一定の効果が見られる。転出超過の3分の2は20代であるため、企業支援・誘致、新築者用住居、多世代同居の推奨などの複合的取り組みが必要である。その一つとして、託児所なども検討する価値はあり、需要把握に努める。

Q2 令和3年度の発掘調査では、舶来の陶磁器や特注品の花器など発掘され、山上に水をたたえた池を持つ庭園があったという発見もあり、大桑城には高貴な文化人が居住していたことが考えられる。今後の発掘により、歴史の教科書が変わるかもしれない発見を期待している。

大桑城のジオラマやCGなど、大桑城の姿を3D化して、イメージしやすいようにできないか。

A ジオラマの利点は、文字や図などの2次元の展示パネルに比べ、城の地形、曲輪・堅堀などの痕跡、当時の建物といった専門的な情報を、子どもから大人までの幅広い世代に分かりやすく伝えることができることである。大桑城でも、今後検討する価値があると考えている。



▲出土遺物（一例）  
輸入品の茶入

Q-1 带状疱疹を未然に防ぐために

ワクチンのことを市民へ周知する A

Q-2 気象防災アドバイザーの活用を

防災力強化のため、活用に向けて検討する A

Q-3 軽自動車納税証明書のオンライン化は

納付確認の電子化により、証明書の提示が不要となる A



加藤 義信 議員

Q1 带状疱疹ワクチンの効果は。また、ワクチンを知らない人も多いが周知はされているか。

A ワクチンは2種類あり、副作用もあるが重症化予防に効果があるとされている。現在は任意接種であり積極的にワクチンの周知はしていないが、市内ではポスターを掲示している医院もある。今後は広報などで周知していきたい。

Q2 気象台のOB・OGが自治体のニーズに合わせてサポートする気象防災アドバイザーに対する認識と、評価は。

A 気象防災アドバイザーについては、県から情報提供があった。平常時は自治体職員対

Q3 申請時、窓口へ出向く必要がないよう、電子化へ移行できないか。

A 令和5年1月から四輪軽自動車は、継続車検時に納税証明書の提示が不要となる。そのため、軽自動車納税付確認システムへの連携準備を進めている。これにより納税者や車検業者の利便性の向上、窓口業務の事務軽減が図れると考えている。

今後、四輪軽自動車は、納税証明書の提示が不要となることなどを市民に周知していく。

Q-1 鳥羽川堤防の切り下げ工事は安全か

鳥羽川河川改修により治水の安全度は高まる A

Q-2 公民館主事の役割、出勤日数削減の進め方は

公民館運営と事業企画  
今後の勤務条件変更は、事前協議で丁寧に対応する A

Q-3 一般会計繰り入れによる水道料金値上げ提案の圧縮を政策に

法理念に基づき繰り入れせず、生活支援は一般会計で検討する A



福井 一徳 議員

Q1 富岡橋から北の東側土手に水が染み出る箇所がある。堤防護岸を土羽工事からブロック積の護岸工事へと変更するよう県に要望すべきでは。また、市民への説明会の機会は。

A 県は随時河川パトロールを実施し、市も情報提供し対応をお願いしている。この河川改修事業は、河床を1m下げ川幅を広げることで洪水に対応するもの。現在の土羽護岸は暫定形であり、ブロック積護岸の施工を順次実施すると聞いている。3月末に行う鳥羽川改修促進期成同盟会の総会後に、県から事業進捗状況の説明があり、その後は相談のうえ進める。

Q2 公民館主事の役割は。また、令和4年度主事の出勤日数削減と、募集に係る一連の進め方に問題はなにか。

A 主事は、公民館の運営や、事業などの企画業務、講座や学習発表会、公民館運営委員会の開催や書類事務、利用団体への対応といった役割を担う。募集にあたり、地域住民のための公民館活動を運営方針とし、主事の活動実績を数値化し、勤務日数を見直した。しかし、公民館運営に関わるため、事前に館長・主事会などで意見聴取するなど、丁寧な対応を今後の教訓とする。

Q3 水道事業審議会では、水道料金を当面30%、最終50%値上げが提案された。一般会計から水道事業会計に3千万円繰り入れるため、年間4億円支出しているクリーンセンター事業を更新時に圧縮し財源を確保するなど、市の政策的余地はないか。

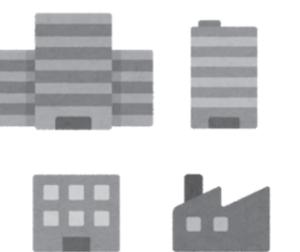
A 地方公営企業法や水道法に理念が規定され、厳格な繰出基準なども示されている。仮にクリーンセンター関連の経費が低減できても、水道事業会計へ繰り出す発想にはならない。市民負担の軽減が必要な場合は、生活支援など一般会計で支援するよう目を向けるのが本筋と考える。





**Q** インボイス制度導入による事業者への影響と対応は

**A** 免税事業者等への影響懸念から国の対応について情報収集する



**Q** ※インボイス制度導入による市内の中小企業、小規模事業者への影響は。

**A** 中小企業などに限らず、特に免税事業者である場合、納品先との取引停止、価格引き下げ要求などさまざまな取引形態に応じた影響が推測される。

**Q** 課税売上高1千万円以下の免税事業者が取引から排除される恐れがあるが、対応は。

**A** 企業規模や取引形態に応じたさまざまな懸念が推測されるが、本市では国が実施する制度説明会や、相談窓口開設などの情報収集に努めたい。

**Q** 1千万円以下の免税事業者へ向けた、課税事業者になるための周知は。

**A** 免税事業者のみを対象とした、課税事業者になるための周知などの取り組みは行わない。

**Q** 個人事業主として働くシルバー人材センターの会員、運営への影響が懸念される。

**A** シルバー人材センターは高齢者の生きがいの場でもあり、介護費、医療費の削減にもつながると考えるが、安定的な運営への対策は。

**A** 市シルバー人材センターでは、インボイス制度が運営への影響を及ぼさないよう対策が講じられていると聞いている。

**※インボイス制度とは**  
消費税の仕入税控除の方式として、令和5年10月1日から導入される制度。売り手である登録事業者は、インボイス（適格請求書）の発行により買い手（課税事業者）に対し、正確な適用税率や消費税等を伝え、買い手は、仕入税控除適用のためにインボイスの保存等が必要となる。



**Q-1** 子どもたちの未来のために 子どもたちが心豊かに成長できる社会を目指す

**Q-2** バスの活性化の考えは 今後も利用促進を図り推移をみて検討していく

**Q-3** 鳥獣害対策と里山保全の活用は 引き続き事業を実施し、鳥獣害対策に努めていく

**Q1** 子どもたちの未来のために、愛着や誇りを持つるまちづくりなど、将来に向けたビジョンについての考えは。

**A** 豊かな自然や歴史・文化に恵まれた本市の魅力を生かして、行政が一体となって発信し、郷土愛の醸成に努め、誰もが生涯を通じて安心して夢や希望のある暮らしが送れるよう、生活環境や福祉の充実、文化の振興などに努める。また、どの世代も住みよいまちの実現を目指し、調和のとれた総合的なまちの発展を目指す総合計画の理念のもと、掲げた施策を積極的に推進する。

**Q2** 公共交通であるバスの新規路線やダイヤ改正などによる活性化についての考えは。

**A** 現時点で新規路線やダイヤ改正は考えていない。一般的に新規路線は、広域的な人の交流や広域連携の観点から、近隣市町などとの交通ネットワーク構築において重要であり、今後も利用の促進と状況分析に努める。

**Q3** 針広混交林化や里山保全などは、鳥獣害対策に効果的だと思われる。広く周知・実施することの考えは。

**A** 人工林のうち、生育が不良で木材利用に適さない森林は、災害に強い健全な森林を次世代に引き継ぐ観点からも、針広混交林化が必要と考える。また、里山保全については、緩衝地帯を設けて、人間の居住区と森林とを分け、動物の侵入を防ぐ目的として実施している。

鳥獣対策の有効的な対策を見つけて、現在取り組んでいる緩衝地帯や鳥獣柵の設置を引き続き実施し、鳥獣害対策に努めていく。



**Q** 「山県市教育ビジョン2020」取り組み状況と今後の方針は

**A** 柔軟な発想と対応で本市の教育を前進させる



**Q** 「山県市教育ビジョン2020」の2年間の進捗と課題は。

**A** コロナ禍の2年間は、子どもの学びを止めないための教育活動を続けている。

**Q** 「教育ビジョン2020」の成果は、タブレット端末PCを早期に導入できたことや、小学校の教科担任制の授業を拡大したこと、また、中学校では合同部活動の実施などがある。

**A** 一方でスクールバスを利用した他校との交流授業や、市図書館などを活用した学習を進めることが課題と捉えている。

**Q** 5つの重点の1つ「次世代が求める学ぶ力を育む教育の推進」について、リアルな体験をもとに感じる感性や、STEAM教育のArtにより培われる子どもたちの力に期待が高まる。

**A** 一方、コロナ禍により社会全体の閉塞感や子どもたちへの活動制限があるが、取り組みを進めるべきであると考えている。今後の方針は。

**Q** 教職員がコロナ禍の対応で学んだことは、どの方法が正解なのかではなく、実施に至るその課程で、科学的根拠を基に議論を積み重ね、大多数が納得できる解答をつくりだすことが重要だということである。

**A** そのための柔軟な発想と対応により、一つ一つの活動を中止ではなく実施できるように取り組んでいく。

**※STEAM教育とは**  
科学(S)・技術(T)・工学(E)・数学(M)を総合的に学習するSTEAM教育に、芸術・文化・幅広い知識を身に付け、既存のものに対して問いや疑問をもつ技法であるリベラルアーツを含めたArtの「A」が加わった教育手法。



**Q** 沿道の山林整備による環境保全を 対策が行えるように検討を進めていく



**Q** 平成30年7月豪雨では、円原地区の市道や神崎地区の県道、佐野・葛原地区の国道418号で風倒木により電力線や電話線が破断し、大規模停電などが発生した。復旧までには、最大1週間を要した。

**A** 国道256号の関市洞戸・板取地区、郡上市那比地区などの沿道では、500mほどの大規模伐採事業が進行中である。

**Q** 県森林環境税、国森林環境譲与税、ライフライン保全対策事業補助金を活用し、美山地区で大規模な沿道伐採を早急に実施すべきでは。

**A** 清流の国ぎふ森林・環境税を活用し、防災を目的に森林伐採を行う里山林整備事業は、気象害による倒木の防止など地域住民の生活環境の保全を図るため、里山林や住民に身近な樹木の整備・管理を支援するもので、保全対象の公共施設、住宅など人命に関わる可能性がある樹木の伐採を補助対象としている。

沿道の電力線や電話線の破断事故を防止するための森林伐採を目的とする実施内容ではないため、事業採択は難しいと考える。

**A** また、ライフライン保全対策事業は、県と電力事業者が「大規模災害時における相互連携に関する協定」を締結し、倒木による停電、道路の寸断などの発生を防止するため、関係市町村と連携して行うものである。

しかし、第3期ライフライン保全対策事業は申請が終了しており、第4期ライフライン保全対策事業が実施された場合には、対策が行えるように検討を進めていく。



▲里山林整備事業 危険木伐採現場(葛原地区)

# 特別委員会最終報告

特別委員会  
最終報告

## 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

## 議会改革特別委員会

令和2年第2回定例会に設置された新型コロナウイルス感染症対策特別委員会と議会改革特別委員会が、付託された調査事件について調査を終了し、最終報告を議長に提出しました。

■委員会開催回数 19回  
■調査研究項目

新型コロナウイルスの感染による市民生活及び地域経済に及ぼす影響が最小となるような対策

■調査結果と今後  
本特別委員会では、研究テーマを「新型コロナウイルスと共存」とし、主にコロナハラスメント対策について協議しました。

令和2年度は、市独自のハラスメント対策への取り組みやシトラスリボンプロジェクトへの賛同と推進について、市長へ要望書を提出しました。市は、感染症患者等の人権擁護に関する条例の制定や、マスクに貼るシトラスリボンステッカーを作成・配布し、広く市民に啓発しました。

ンシャルワーカーのワクチン接種を優先することや、感染者・エッセンシャルワーカーへの差別、ワクチン接種の強要、ワクチンを打たないことを選択した人に対する差別が危惧されるため、シトラスリボンプロジェクトをさらに啓発することを求め、市長へ要望書を提出しました。市は山県市商工会と共同でシトラスリボンバッチを作成し、商工会会員、市職員、市内の学校などに配布しました。

感染を食い止めるため、さまざまな対策が講じられていますが、まだまだ新型コロナウイルスの感染が完全に終息する状況とはいえません。今後の活動については、厚生文教委員会に継続をお願いし、最終報告とします。

(文責 石神 真)



■委員会開催回数 9回  
■調査研究項目  
①議会基本条例の精査  
②議会のICT技術の活用

①議会基本条例の精査  
透明性の高い市行政を推進し、市政に民意を反映させるため、第15条の議決事項を見直ししました。

②議会のICT技術の活用  
議案書等のペーパーレス化、検索機能を活用した事務執行の監視・評価、政策立案・提言の充実、自由闊達な議論につながる効果、災害情報の共有化と情報伝達の迅速化のため、タブレット端末とペーパーレス会議システムの導入を協議しました。

▲全議員によるペーパーレス会議システムデモ体験の様子

## 市議会議員特別セミナー報告

1月6、7日の2日間、千葉県千葉市にある「市町村アカデミー」で特別セミナーが開催されました。各分野で活躍されている講師のセミナーを受講しましたので報告します。

(文責 奥田 真也)

受講議員：山崎 通、福井一徳  
操 知子、郷 明夫  
加藤義信、奥田真也



### 自治体のハラスメント対策と議会

人事院公務員研修所客員教授 高嶋 直人氏

憲法第15条の公務員の定義には議員も含まれている。公務員、そして議員には民間と違い、高い倫理観が求められる。特化したハラスメント防止対策が必要となる。それは、自治体組織の性格や人事管理の実態に即した対策を講じることと同時に、公務員全てがルールに沿った内容の研修を行うことが重要になっていく。

市長・議員・職員全員が同じ情報を共有し、組織全体の気持ち・意識を変えることにより働きやすく成果もあがり、明るい未来が待っていると考える。

### 自治体議会の政策力をどう強化するか

中央大学法学部教授 磯崎 初仁氏

政策力強化の前に、まずは議員のなり手不足の対応が必要であり、議員報酬の水準が人材確保の観点から適正な水準を下回る場合には検討する必要がある。

議会としては、提案議案を審議するだけでなく、自ら問題を投げかけ政策をつくりだす政策形成型議会へ。また、議会に対し住民参加を促進する努力をする協働型議会をつくりあげていくことが重要となる。それだけではなく、私たち議員個人が、政策の基礎知識や政策の実務知識、政策問題への応用力を高めていくことこそが「役立っ議会」につながっていく。

### 自治体のデジタル化をどう進めるか

東京大学大学院情報学環教授 越塚 登氏

我が国が目指すデジタル社会の定義は「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」となっている。地方の魅力をそのままに、都市に負けない利便性と可能性を導くことが重要で、自治体でも進んでいく必要がある。

しかし、法制度の改革がないままの急激なデジタル化は、現場の業務を無限に増やし、混乱をきたすことは間違いない。まずは日常業務をデジタル化し、少しずつスキルアップしていくことが必要であり、最終的には、それが市民の最大の利益につながるべく考えていく必要がある。

市議会では、議会改革特別委員会でタブレット端末の導入を協議している。市職員と議員が連携し、市民の利益につながるようデジタル化を進めていく。

### 子どもも保護者も笑顔になれる社会の実現に向けて

学習院大学文学部教育学科教授 東京大学名誉教授 秋田 喜代美氏

日本の少子化は未婚化、非婚化、晩婚化、晩産化が進む背景の中で、解決は容易ではない。子どもに対する公的な未来投資をすることで経済効果は非常に高いといわれているが、都市部の人口集中が顕著となっており地方は危機的状況といえる。これからは、個々のニーズへの対応だけでなく、子育て支援の新たな社会資源の創出と、連携・協働の体制づくりを推進していくことが何より重要である。

少子化が進む中、子どもも大人も生きる喜びと希望あふれる社会を形成するため、山県市に住む人、山県市で働く人が一致団結し、共に考えて目指していく必要がある。

議員特別  
セミナー報告

January  
1月

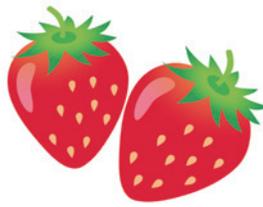
- 5日(水) 議会報編集委員会
- 6日(木) 市町村議会議員特別セミナー(千葉県千葉市)
- 7日(金)
- 13日(木) 議会運営委員会
- 18日(火) 議員協議会  
議会報編集委員会
- 20日(木) 第1回臨時会



▲市町村議会議員特別セミナー

February  
2月

- 1日(火) 山県市社会福祉協議会  
竣工式
- 4日(金) 第287回岐阜県市議会議  
長会議【書面会議】
- 8日(火) 第1回岐北衛生施設  
利用組合議会定例会
- 18日(金) 新型コロナウイルス  
感染症対策特別委員会
- 21日(月) 議会運営委員会
- 24日(木) 全員協議会
- 28日(月) 第1回定例会本会議  
(開会)  
議会改革特別委員会



March  
3月

- 2日(水) 議会運営委員会
- 8日(火) 本会議(質疑)  
議会報編集委員会
- 9日(水) 総務産業建設委員会
- 10日(木) 厚生文教委員会
- 14日(月) 本会議(一般質問)  
議会運営委員会
- 17日(木) 本会議(委員長報告・  
質疑・討論・採決・閉会)
- 22日(火) 鳥羽川改修促進期成  
同盟会
- 30日(水) 第1回岐阜地域児童発達  
支援センター組合議会  
定例会



テレビ放映のお知らせ

令和4年第2回(6月)定例会 本会議の提案説明と  
一般質問をチャンネル長良川で放送します。

- 7月1日(金) 12時~CCN12
- 7月3日(日) 17時~CCN12(サブチャンネル)



令和4年第2回(6月)  
議会定例会予定

- 6月8日(水) 本会議(提案説明)
- 15日(水) 本会議(質疑)
- 16日(木) 総務産業建設委員会
- 17日(金) 厚生文教委員会
- 20日(月) 本会議(一般質問)
- 21日(火) 本会議(一般質問)
- 23日(木) 本会議(委員長報告・質疑・  
討論・採決)

※会議は、原則午前10時から開会します。  
※傍聴を希望する場合は、傍聴受付で傍聴券を受け取り、  
入場してください。  
※日程を変更することもありますので、事前に  
議会事務局(22-6840)に問い合わせください。

編集後記

第1回定例会にて総額230億6123  
万円(一般会計142億2千万円)の新年  
度予算が成立し、安心で快適な住みよいまち  
づくりを目指す令和4年度がスタートしま  
した。

新型コロナウイルス感染症は、いまだ終息  
が見えない状況です。市民の皆様におかれま  
しては感染予防対策に留意していただきます  
よう、お願い申し上げます。

今後も、この「議会だより」にて活動を正  
確にわかりやすくお知らせし、私たち議員を  
身近に感じていただけたらと思います。

(文責 奥田真也)

編集委員

- 【委員長】長古川 雅一
- 【委員】郷 明夫
- 【副委員長】操 知子
- 【委員】奥田 真也
- 【委員】田中 辰典

市ホームページ(山県市議会)  
にアクセスできます。



山県市議会

検索